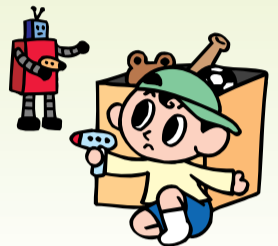




地域で支える新しい子育て支援が始まっています！



区は、区民・事業者・NPO・行政が力を合わせて、子どもと子育てをあたたく見守り、応援する地域づくりを目指しています。今、「杉並子育て応援券」や地域の子育て支援グループによる「ひととき保育」など、新しい子育て支援サービスが次々に始まっています。



▶子どもたちがのびのびと遊んでいます (ひととき保育馬橋)



ほっと一息！ Hot子育て！

ひととき保育が **ぞくぞく** オープン～「応援券」が使えます

保護者が通院などの用事の時やリフレッシュしたい時、お子さんを短時間保育する「ひととき保育」。18年12月に開設した「ひととき保育馬橋」には、お母さんや子どもたちの笑顔があふれています。

3月13日(火)には、区内で初めて民家を利用した「ひととき保育上荻」も開設します。この「ひととき保育馬橋」「ひととき保育上荻」には、つどいの広場(乳幼児親子の交流の場)を併設しています。4月には、阿佐谷と高井戸に新たに2カ所開設予定です。利用申し込みは、各施設へ(初回のみ事前面接が必要)。事業に関する問い合わせは、子ども・子育て計画担当課へ。

ひととき保育馬橋

(高円寺南3-31-3 ☎6762-5737)

- 開所日=月～土曜日(第1・3土曜日を除く)
- 開所時間=ひととき保育=午前9時30分～午後4時30分、つどいの広場=午前10時～午後3時
- 対象=生後6カ月～就学前の乳幼児
- 定員=ひととき保育のみ6名
- 利用料=ひととき保育=1時間800円、つどいの広場=1日100円
- 運営=すぎなみ保育ぐるーぷ

ひととき保育上荻 (3月13日(火)午前10時開設予定)

(上荻3-22-13 ☎3395-0135)

- 開所日=月～金曜日
- 開所時間=ひととき保育=午前9時30分～午後4時、つどいの広場=午前10時～午後3時
- 対象=生後6カ月～就学前の乳幼児
- 定員=ひととき保育のみ6名
- 利用料=ひととき保育=1時間800円、つどいの広場=1日100円
- 運営=NPO法人すぎなみ子育てひろばchouchou(シュシュ)
- その他=3月13日(火)午前11時からオープンイベントとして、五つ子のお母さんの講演会を予定しています

ひととき保育阿佐谷 (4月2日(月)開設予定)

(阿佐谷北1-4-2 認証保育所「ポピンズナーサリー杉並」内)

- 開所日時=月～土曜日の午前9時～午後6時
- 対象=生後6カ月～就学前の乳幼児
- 定員=8名
- 利用料=1時間800円
- 運営=(株)ポピンズコーポレーション(現在建設中のため、電話番号は後日お知らせします)

ひととき保育高井戸 (4月2日(月)開設予定)

(高井戸東3-7-5 高井戸地域区民センター内)

- 開所日時=月～土曜日の午前9時～午後6時
- 対象=生後3カ月～就学前の乳幼児
- 定員=9名
- 利用料=1時間800円
- 運営=(協)けいわ会(現在改修工事のため、電話番号は後日お知らせします)
- その他=子育て相談日を週1回開設予定(無料)

4面では、「ゆうキッズ」、「ふれあい保育」、「育児相談」についても紹介しています

就学前のお子さんのいる家庭に、4月中旬に申込書をお送りします

4月から「杉並子育て応援券」の申し込みが始まります

ひととき保育（一時保育）、ベビーシッター、さらには親子コンサートなど、有料の子育て支援サービスに利用できる「杉並子育て応援券」（チケット）を就学前のお子さんがある家庭に配付し、サービスを利用しやすくします。区では6月からご利用いただけるように、現在準備を進めています。今回、事業の概要を紹介します。——問い合わせは、子ども・子育て計画担当課へ。

すべての子育て家庭を支援するために

「身近に相談できる相手がいない」、「育児に自信が持てない」など、子育てに対する不安感や負担感は増大しています。ひとりで子育ての悩みを抱え込まないで、ひととき保育（一時保育）や親子参加行事などを利用しながら、地域の中で安心して子育てができるような環境を整えるために導入したのが、この「杉並子育て応援券」です。現在、この応援券でサービスを提供していただく方を、地域の団体、NPO、事業者など様々な主体から広く募っており、すでに多数の応募をいただいています。利用者の要望に合った質の高いサービスが数多く地域に展開されることが期待されます。

区民の皆さんが子育てを楽しみ、利用しやすい制度となるよう、区民の皆さんの声を反映して事業を推進していきます。今後ご意見をお寄せください。



1 申込書が届いたらお早めにポストに投函してください。



2 区から応援券が郵送されます。同封のガイドブックの中からサービスを選びます。



3 利用料を応援券で支払い、サービスを利用します。（一部自己負担の場合があります。下図「利用例」参照）



4 サービス提供者に、利用のあった応援券分相当額を区が支払います。

応援券が利用できるサービス事業者を募集しています

地域の団体・NPO法人・民間事業者、さらには子育て当事者自身のグループなど、たとえ小さな規模の団体であっても、子育て支援の主力になれます。現在、子育て支援活動をしている方、やってみたい企画のある方など、ぜひ説明会にご参加ください。
【日時】3月19日(月)午後2時30分～4時30分
【会場】セシオン杉並（梅里1-22-32）
【内容】サービス提供者になるための手続き方法やガイドラインなど
【申し込み】当日、直接会場へ
【その他】手続き方法やガイドラインは、区ホームページおよび「すぎなみ子育てサイト」(4面参照)に掲載しています

お子さんの年齢に応じて年額6万円と3万円を支給します

0～2歳児のお子さんのいる保護者に年額6万円（応援券120枚）
3～5歳児のお子さんのいる保護者に年額3万円（応援券60枚）

【券の種類】500円券一種類のチケットを予定しています。つり銭はお支払いできないため、サービス利用料と応援券の差額は現金でお支払いください。

【発行回数】年1回、対象となるお子さんごとに1年間分を一括して交付します。

【有効期間】有効期間は2年です。ただし、お子さんが就学する前年度は、当該年度のみ使用可能とし、翌年度には繰越せません。

サービスの種類ごとに利用限度額があります

応援券は、子育て家庭が選んだサービスを利用しやすくする制度であり、一定額を超える部分は自己負担していただくことが適当であると考えます。そのため、サービスの種類ごとに1回のサービスに利用できる上限額を設けました。上限を超えた分は、現金で支払うことになります。上限額＝①親子参加のプログラムは1万円②親サポートのプログラムは5000円③子どもを預かるサービスは5000円

サービス種類	利用料	応援券	現金	備考
①親子コンサート 1回3000円 父・母と3人で参加	9000円	18枚(9000円分)	なし	親子参加のプログラムなので限度額は1万円。親子で1万円まで使えます。
②産後のフィットネス 単価1回1400円	1400円	2枚(1000円分)	現金400円	親サポートのプログラム。応援券は1枚5000円なので、差額は現金です。
③ベビーシッター 単価1時間1500円 4時間利用	6000円	10枚(5000円分)	現金1000円	子どもを預かるサービスなので限度額は5000円。5000円を超えた分は自己負担。

〈利用例〉

応援券に同封されたガイドブックでサービスを選択して申し込み

まずは申し込みが必要です

「杉並子育て応援券」の申し込みは4月から開始する予定です。4月中旬に、該当するお子さんがいる世帯主（4月1日現在の住民登録または外国人登録している方）に申込書と返信用封筒を郵送しますので、速やかに区へ返送してください。

4月27日（必着）までに区へ郵送いただければ、6月上旬に応援券を発送します。

区に事前に登録している事業者がサービスを提供します

サービス種別	主なサービスの例示	
親子参加のプログラム	①親子で鑑賞事業	コンサート、観劇など
	②親子で体験講座	ふれあい遊び、クッキング、体操、リトミックなど
	③親子の集いの場	つどいの広場など
	④親子参加のイベント	遠足、バスハイクなど
親サポートのプログラム	①産後を中心とした支援	産後のフィットネス、母乳相談、ベビーマッサージなど
	②家事援助	産後支援ヘルパー、ホームヘルプサービスなど
	③子育て相談	育児相談、離乳食相談など
	④子育て講座	食育講座、子どもの事故防止講座など
子どもを預かるサービス	①特定の場所での保育	ひととき保育、子育てサポートセンター・私立保育園・認証保育所・幼稚園の一時保育など
	②イベントなどの託児サービス	コンサート・観劇・講演会などでの託児など
	③自宅での託児サービス	ベビーシッター、ファミリーサポートセンター、地域のNPO・団体が行っている訪問型託児サービスなど

※おむつやミルクなどの物品購入は対象外です。具体的なサービス提供者とサービス内容は、応援券に同封する「ガイドブック」に掲載します。

手当・医療費助成

区では、子育て支援の一環として、各種手当の支給や医療費の助成など、様々な経済的支援を行っています。4月からは、医療費助成が中学生まで拡大されます。各制度の概要は、次のとおりです。問い合わせは、子育て支援課子ども医療・手当係へ。

乳幼児医療費助成

児童手当

区内に在住の乳幼児（生後12か月以内）のお子さんにかかる医療費の自己負担額を助成（6歳に達した日以後の最初の3月31日までの前年度）にお子さん（生後12か月以内）を養育している方
※保険適用されない薬容器代や診断書料などは除きます。
義務教育就学児医療費助成を4月から始めます
4月から、医療費助成の対象を中学生まで拡大します。詳細は「広報すぎなみ」2月11日号をご覧ください。

ひとり親医療費助成

区内に在住のひとり親（生後12か月以内）のお子さん（生後12か月以内）を養育している方
※保険適用されない薬容器代や診断書料などは除きます。
ひとり親医療費助成
区内に在住のひとり親（生後12か月以内）のお子さん（生後12か月以内）を養育している方
※保険適用されない薬容器代や診断書料などは除きます。

児童扶養手当

区内に在住の児童一人につき九万五千円（四万七千二百円、第二子五〇〇〇円加算、第三子以降三〇〇〇円加算）18歳に達した日以後の最初の3月31日までの前年度（中学生未満）のお子さんを養育している母子家庭または養育家庭の方
※保険適用されない薬容器代や診断書料などは除きます。



乳幼児および義務教育就学児医療費助成を除き、所得制限があります。申請方法などの詳細は、お問い合わせいただくか、区ホームページをご覧ください。

あなたの子育てによる相談所 子ども家庭支援センター

子ども家庭支援センターは、子どもと家庭に関する区の総合相談窓口です。各事業の詳細は、「すぎなみ子育てサイト」(4面参照)でも、ご案内しています。問い合わせは、子ども家庭支援センター（阿佐谷南1-14-8 ☎5929-1902）へ。

子育て講座

子育てに役立つ知識や技術を学ぶ講座を行っています。

子どもショートステイ

保護者が、病気・出産・冠婚葬祭・事故などで一時的にお子さんを養育できない時に、区内の児童養護施設・乳児院で預かります。

産前産後支援ヘルパー事業

産前・産後で家事支援が必要な家庭にヘルパーを派遣します。

ひとり親家庭等ホームヘルプサービス

ひとり親家庭等にヘルパーを派遣します。

ひとり親家庭休養ホーム

ひとり親家庭に休養の機会を提供します。

ファミリー・サポート・センター事業

子育ての手助けをしてほしい方（利用会員）と手助けができる方（協力会員）が地域の中で相互援助をする会員制の事業です。利用会員や協力会員を希望する方は、(株)杉並区社会福祉協議会とささい係 ☎5347-1021へご連絡ください。



子育てに不安や悩みを抱えている方が相談を兼ねて親子でく



仕事と家庭の両立支援や地域貢献活動など、子育て支援に積極的に取り組んでいる区内の企業や事業者を表彰する制度を創設しました。区内事

子育て支援先進企業を表彰します 「杉並区子育て優良事業者」表彰制度

業者の子育て支援への取り組みを進め、行政と地域・企業の協働による、子育てしやすいまちづくりを進めます。皆さんから推薦いただいた事業者(2月28日に締め切りました)を選考し、3月下旬に「最優良賞」「優良賞」「地域貢献賞」の受賞者を決定します。

受賞者の取り組みは、区ホームページやすぎなみ子育てサイトなどで紹介します。

☎子育て支援課管理係

**子育てを応援します
児童館・保育園をご利用ください**

**乳幼児親子の広場
「ゆうキッズ」**

区内すべての児童館では、乳幼児親子の皆さんに向けて、乳幼児親子の広場「ゆうキッズ」を実施しています。

おままごとや乗り物などの乳幼児向けの遊具があり、親子で自由に遊ぶことができます。そのほか、手遊びや親子体操、絵本などのミニプログラムや季節行事などにも自由に参加することができます。昼食やおやつなど、持ち込みで飲食もできます。

また、地域の子育て情報の交換や身近な子育て相談もできます。利用料は無料です。

☎児童青少年課 ☎3393
14760

**お立ち寄りください!
保育園**

すべての区立保育園では、「育児相談」や保育園生活が体験できる「ふれあい保育」を行っています。

「ふれあい保育」では、同年齢の子どもたちと一緒に遊んだり、保育園の給食を食べながら育児相談も受けられます(一食二〇〇円)。相談の内容によっては、保育士だけではなく、看護師や調理師も相談に応じます。

そのほか、身体測定や園庭開放など、保育園ごとに身近な子育て支援施設として、いろいろな取り組みを行っています。

☎保育課指導係



子育ての「知りたい!」に応えます

すぎなみ子育てサイト 新コーナーを加え、ますます充実!

<http://www.suginami-kosodate.jp>



1月4日、区独自の子育て情報サイト「すぎなみ子育てサイト」がオープンしました。

子育てに関する行政情報のほか、地域情報、小児科医や保育園長などの子育ての専門家や子育て真っ最中のママのエッセイ、そしてワークショップ参加者のお母さんたちの取材記事など、盛りだくさんです。

今、子育て中の方の目線に立った情報提供を目指し、お母さんたちと共にサイトづくりを進めています。

3月中旬には、子育て中に感じるちょっと気になることから、「子どもがかわいいと思えない」という悩みまで、子育て中にぶつかる様々な疑問や不安に、先輩ママや専門家がお答えする「なんでも相談コーナー」や「子育て支援グループコーナー」も始まる予定です。

▶▶「子育てサイト」公開ワークショップ◀◀

3月11日(日)に開催される「すぎなみ子ども・子育てメッセ」(下記参照)で、公開ワークショップを開催します。子育て中の方に関心が高いテーマについて、お母さんたちがサイト作りに取り組んでいます。そのお母さんたちが、舞台裏を紹介したり、会場の皆さんと共に話し合ったり、ご意見をいただくワークショップです。

子育て中に直面することが少なくない「育児ストレス」をテーマにした座談会も開催します。もちろん、ワークショップの様子は、後日子育てサイトで紹介します。

☎3月11日(日)午後1時~3時(場)セッション杉並(梅里1-22-32) ☎無料(申)当日、直接会場へ☎子育て支援課管理係

◆ホールと視聴覚室の催し

ホール		視聴覚室	
時間	内容など	時間	内容など
午前9時30分	「ココロマメ」アニメ上映	午後0時20分	「ココロマメ」アニメ上映
午前10時~	蚕糸太鼓、開会あいさつ、音楽とお話の会	0時50分	「ちゃんと知ってる?~おちんちんの話」 講師=林クリニック院長・林志隆
午前11時10分~午後0時10分	基調講演「元気なおとな・元気な子ども」 講師=こどもの城臨床心理士・植松紀子	1時30分	「おねしょの話」 講師=(社)発達協会王子クリニック小児科医・竹内紀子
午後0時25分~	ママさんゴスペル、学童クラブハンドベル演奏	2時10分	「うちの子は、少しゆっくり成長?~もし発達障害といわれたら~」 講師=フリージャーナリスト・海津敦子
1時5分	「ココロマメ」アニメ上映	2時50分	座談会「聞いてみよう!胸のこと、あれこれ~乳がん年齢のあなたとともに」(事前申し込み)
2時5分	ダンス・パフォーマンス、車いすダンス、農楽舞		
3時45分	閉会あいさつ		

ホールラウンジでは、フリーカメラマン・宮崎雅子さんの写真展「聴こえますか いのちの響き」を開催します。

◆1階・2階・3階・体育室の催し(体育室には、上履きをお持ちください)

団体紹介などの展示、ミニステージ、読み聞かせ、おもちゃ作り、おしゃべりコーナー、つみ木広場、ゲーム、模擬店ほか。授乳、休憩コーナーもあります。

※内容は都合により変更になる場合があります。



▶▶ 昨年の様子



▲植松紀子

乳幼児親子や子育てを支援している団体などがつながりあうきっかけとなる「すぎなみ子ども・子育てメッセ」を開催します。

第二回目となる今年は、五〇を超える地域活動団体などが参加します。

こどもの城の臨床心理士・植松紀子さんの基調講演をはじめ、つみ木広場や絵本の読み聞かせ、展示、模擬店など楽しい企画がいっぱいです。(区共催)

(申)当日、直接会場へ☎子育て支援課管理係内すぎなみ子ども・子育てメッセ事務局(他)一部事前申し込みが必要(「広報すぎなみ」2月11日号参照)。また、参加費などが必要な催しもあります。

3月11日(日)

すべての子どもと大人でつくる新しい杉並
「すぎなみ子ども・子育てメッセ」
—元気なおとな・元気な子ども

セッション杉並(梅里1-22-32) 午前10時~午後4時